

平成27年度事業計画(案)

1 活動方針

本会も設立から11年目の年を迎えました。また、今年度は、愛知万博10周年の記念の年でもあります。これまでの長年の実績を踏まえ、さらに充実した活動展開と飛躍する年としていきます。

県からの受託事業については、引き続き「調査学習会」「里と森の教室」「耕地管理」「サテライト管理」の計4つの事業を継続して実施します。このうち、耕地管理については、里と森の教室と直接関連しない耕地管理は、従来の「里の再生」と合わせ、会の主力事業として会員の全員参加の活動として実施していきます。

助成事業としては、森林・山村多面的機能発揮対策事業が3年目の最終年度を迎えます。これにより里山林の整備や森林環境学習に加え、作業路等の整備を実施します。

また、オータケ記念愛知県自然環境保護基金から昨年度に引き続き「里山コミュニティ“海上の森”普及啓発事業」を実施することで助成を受けることができました。これは、会の活動や自然や歴史などを映像として記録するほか、夏休みこども自然学校や海上の森検定を実施するものです。

愛知県の森と緑づくり事業の助成では「愛知万博10周年記念 里山体験型学習会“海上の森のつどい”」の開催を予定しています。これは、収穫感謝祭と各種里山体験学習を連続して2日間、愛知万博10周年の記念事業として一般参加者を募集してイベント的に開催する計画です。

その他、継続して取り組んでいる活動については、引き続き会員・スタッフの協力により充実したものとしていきます。

さらに会の適正な運営やグループの横断的な連携強化に取り組むとともに、会員の積極的な参加が得られるよう、情報発信の充実を図ります。また、会員増加の努力、特に若い層への働きかけやPR活動の充実に努めます。

会員が互いに尊敬しあい、各世代が加わって賑わいのある会、汗を流した分だけ充実感や達成感が感じられる会、それぞれの想いを認め合い、楽しく活動できる会にすることを目標とします。

2 事業計画

(1) 県(あいち海上の森センター)からの受託事業

① 調査学習会 3回

事業費

実施日	活動内容	定員
5月31日	第1回 初夏の海上の森(花・虫・鳥)	30
7月19日	第2回 海上の森のキノコ	50
8月2日	第3回 海上の森の水生生物	30

② 里と森の教室 10回

事業費 2,700,000円

実施日	活動	定員
5月24日	説明会・サツマイモ植え	50名 全10回 セット
6月7日	田植え	
6月28日	田の草取り・野菜の世話	
7月26日	田の草取り・野菜の収穫・溝さらえ	
8月23日	ソバの種蒔き・野菜収穫	
9月27日	ハザづくり・サツマイモ収穫・野菜の世話	
10月4日	稲刈り・ハザ掛け	
10月18日	里山探検・柿の剪定・脱穀	
11月8日	サトイモ・シイタケ収穫・クン炭づくり	
12月13日	シイタケホダ木づくり・落葉かき	

③ 耕地管理

事業費 873,720円

1年を通して海上「ふれあいの里」県有耕作地等の保全管理を実施

④ 里山サテライト施設開閉等業務

事業費 302,400円

4月1日から1年間 里山サテライトの鍵の開閉、内外清掃を実施

(2) 森林・山村多面的機能発揮対策事業(国からの助成事業)

事業費 1,254,000円 助成額 1,204,000円

手入れ不足となっている海上の森の人工林の間伐・枯損木の除去を始め、里の周辺で人工林にまで侵入している竹林及び荒廃している竹林の整備と広葉樹林の整備を計画的に集中して実施し、森林・竹林の健全化を図る。あわせて、歩道等の補修を実施する。

広葉樹林は、雑草木の刈払いと適度の掃除伐を行い、健全な森林にするとともに、シイタケの原木づくりなどを行う。

また、森林の機能や働き、森林の生態などを学ぶ森林環境学習会を6回開催し、森や里山に関する理解促進と普及啓発を図る。

【事業内容】

活動	内容	面積等
里山林保全	里山林景観を維持するための活動	1.3ha
侵入竹除去・竹林整備	侵入竹の伐採・除去活動	0.7ha
森林資源利用	広葉樹林の整備活動	0.5ha
森林機能強化	路網の補修・機能強化等	300m
教育・研修活動	森林環境教育の実践	6回
資機材・施設の整備	機材等の購入（1 / 2助成）	一式

(3) あいち森と緑づくり事業の助成事業

愛知万博 10 周年記念 里山体験型学習会 「海上の森のつどい」

事業費 助成額

開催日 1 1 月 2 2 日（日） 2 3 日（月・祝）

愛知万博 10 周年を記念して、万博記念の森である「海上の森」で身近な自然環境や森林保全について学ぶため、様々な里山体験を通じた学習会「海上の森つどい」を幅広く参加者を募集して開催する。

① 海上の森 「里山を考える集い」（11 月 22 日開催 定員約 250 名）

里で収穫したものを皆さんで分かち合い、里山の田畑の管理、水資源となる里山・森林の整備の必要性・重要性を体感し、食につながる里山文化についても改めて考える場として「里山を考える集い」を開催します。

里山のくらしや里の生活の知恵を、食べ物をつくり食することを通して学び、里山保全をより身近に、自分のものとして感じとり、学びます。

身近な自然環境の保全、とりわけ里山保全を進めていくには、単に自然観察とか里山整備（掃除伐）といった一面だけでなく、生活や文化と関連したトータルとしての里山を理解していただき、これからどのような活動をしていけばいいのかを皆さんとともに考えていきましょう。

【プログラム】

開会のことば

招待者あいさつ マリ クリスティーナ名誉センター長・所長

特別ゲストあいさつ 作家 堀田あけみ

講話 里山のお話し・海上の歴史と文化

里づくり・森づくりの経過発表

食べ物づくり体験

食に関わる体験コーナー（たき火・焼き芋・餅つき・ソバ打ち）

恵みの会食

まとめのあいさつ これからの海上の森の里山保全

閉会のことば

② 里山体験型学習会（11 月 23 日開催 定員 各 10～30 名）

- ・自然観察会
- ・海上の森ツアー
- ・森と遊ぶ子ども体験会
- ・間伐体験・竹林整備
- ・里山の文化歴史学習
- ・木工芸教室
- ・最後に交流会

(4) オータケ記念愛知県自然環境保護基金助成事業

「里山コミュニティ“海上の森”」普及啓発事業

事業費：300,000 円 助成額：300,000 円

次の事業を有機的に開催し、海上の森での活動及び海上の森について広く普及啓発活動を展開する。

①「里山コミュニティ 海上の森」の記録映像制作

海上の森の一年間を通して、自然環境調査や森づくり、里づくり、里の歴史文化の継承などの取組みを総合的にDVDに記録し、機会あるごとに普及啓発するアイテムとして活用するとともに、次世代につないでいくための貴重な映像資料として後世にも引き継ぐことを目的とする。

【事業内容】

- ・海上の森の一年の活動記録及び里山保全の解説や年中行事の謂われなどをDVDで記録する。
- ・DVD完成発表会（1回）を開催し、改めて学習しこれからを考える。

②海上の森夏休み子ども自然学校

子どもを対象とした「海上の森自然学校」を開催し、里山保全の様々な分野での体験を通して、次世代を担う子どもの心に里山の成り立ちや自然の不思議などを刻みこむことを目的として普及啓発を図る。

【事業内容】

- ・夏休みに2回開催 募集人員 15名程度
- ・内容：里山の成り立ち・海上の歴史文化の解説
里山体験（作物の収穫・間伐・生き物学習・工作など）

③「海上の森検定」策定・普及

海上の森の理解を深め、海上の森での取組みの普及拡大を図るため、「海上の森検定」を策定し、広く普及活動に資する。

【事業内容】

- 検定策定 初級～上級 問題 各30問程度
- 検定普及活動・・・参加者に配布等
- 検定をHPに掲載・・・HPから問題や回答用紙を取り出すなど

(5) 各グループの活動別計画

■自然調査グループ

① 自然環境調査

- ・毎週木曜日の定例調査の実施と1年間の結果を一覧表にまとめて作成。
- ・スマレサイシン自生地および屋戸湿地の保全活動（草刈り、落ち葉掻き）については県（自然環境課）と協議しながら実施する。
- ・希少植物保護のための作業注意事項や特定地域の外来植物の駆除について海上の森センターと協議しながら進める。

② 自然ウォッチ

毎月第一日曜日に、一般参加者とともに自然について学ぶ。

③ 調査学習会

- ・市民に海上の森の植物、野鳥や昆虫等の調査学習を通して生物多様性、自然の保全管理について学ぶことを目的として、あいち海上の森センター受託事業として実施する。（日程は2ページに掲載）

④ 海上の森ツアー・ガイド

- ・依頼に応じて随時実施する。

■森づくりグループ

① 森林（もり）づくり

- ・夏場を除いて年間 40 日の作業を実施予定。
- ・グループ内のスキルアップをめざし、「チェーンソー講習会」や各種研修会へ積極的に参加する。
- ・森林・山村多面的機能発揮対策事業（内容は 3 ページに記載）を精力的に実施する。

② 森の教室

- ・森の教室を 11 月 1 日・11 月 14 日に 2 回開催する。間伐体験と間伐材を使ったベンチの製作などを実施する。募集人員は 20 名
- ・リース・ミニ門松づくり講座を 12 月に開催する。 募集人員は 30 名
- ・木工芸教室を第 2 日曜・第 3 水曜・第 4 日曜に「あいち海上の森センター 工作室」で開催する。募集は随時

③ 企業連携

- ・あいち海上の森センターと企業連携している各企業に技術指導をする。

■里づくりグループ

① 再生管理（里の再生と耕地管理の一部を合体）

- ・耕地の耕耘、草刈り、水路整備、土手・畔・畦道の補修、田圃の補修、竹・笹の除去、ため池整備などを予定している。
- ・今年度は、会の主力事業として全会員に呼びかけ協同して行う。

② 里と森の教室

- ・受託事業として 10 回シリーズで行う。（日程は 2 ページに掲載）
- ・作業前の説明会は安全を前提に、作業内容や手順、農具の使い方、海上地域の特性など出来る限り初めての参加者にも理解できるように行う。

③ 耕地管理

- ・里と森の教室に係る田畑の維持管理、教室用の準備などの作業の全般について実施する。

■里山文化グループ

① 生活史調査

- ・6 回程度の調査を予定したい。
- ・灌漑水利系統図作成のための基礎資料として水田調査を行う。
- ・「海上集落図」作成のための基礎資料として海上の地名と屋敷跡、諸施設の新旧位置などを調べる。
- ・調査資料は『海上の森だより』の「海上 いま むかし」に逐次掲載する。

② 里のくらし

- ・里の年中行事を言い伝えや由来などを語り合いながら、楽しく、和やかな行事として参加者とともに実施する。

【開催予定日】

- 4 月 5 日（日）おひな祭り
- 6 月 20 日（土）ホタルの観賞
- 9 月 26 日（土）里のお月見
- 11 月 22 日（日）収穫感謝祭
- 12 月 23 日（水祝）サテライト大掃除とお正月準備

1月 9日（土）お正月行事とどんど焼き

③ 案内・巡視

- ・里山の自然保護・環境保全を目標とする。
- ・サテライトを拠点に案内や問い合わせに対応する。

④ サテライト維持管理

- ・開閉管理
7人程度が1週間交代で実施。（9時開錠、17時施錠を基本） 日常的な掃き拭き掃除はその当番が実施する。
- ・維持管理計画
サテライト周辺の草刈り及び除草、側溝の清掃
6月下旬、8月下旬、10月下旬 は大掃除と障子の張り替え

■総務情報グループ

① HP管理

ホームページの更新・・・情報を敏速に収集し、早く反映させる。

②会報発行

会報「海上の森だより」を年間4回発行する。今年度の発行は以下の通り。
ご寄稿、大歓迎。

春号の発行＝4月20日。

夏号の発行＝7月22日頃（原稿締め切り＝7月15日頃）

秋号の発行＝10月28日頃（原稿締め切り＝10月21日頃）

冬号の発行＝平成28年1月27日頃（原稿締め切り＝1月20日頃）

(6) あいち海上の森センターの事業に協力

あいち海上の森センターが計画している「愛知万博10周年記念事業「海上の森体験ツアー」」に協力する。

(7)他団体等との交流

各団体等の会議等に例年どおり参加します。

	会議・委員会名称	担当理事氏名
1	海上の森運営委員会委員	原 秀男
2	海上の森第2次10ヶ年計画策定委員会委員	似内 信彦
3	同 上	出口なほ子
4	人と自然の共生国際フォーラム実行委員会委員	浦井 巧
5	同 上 作業部会委員	似内 信彦
6	瀬戸まるっとミュージアム・観光協会理事	浦井 巧
7	瀬戸市環境塾運営委員会委員	曾我部紀夫
8	せと市民活動連絡会運営委員	出口なほ子
9	あいち自然ネット幹事	平野 幸治
10	尾張北部生態系ネットワーク協議会	似内 信彦

3 活動体制

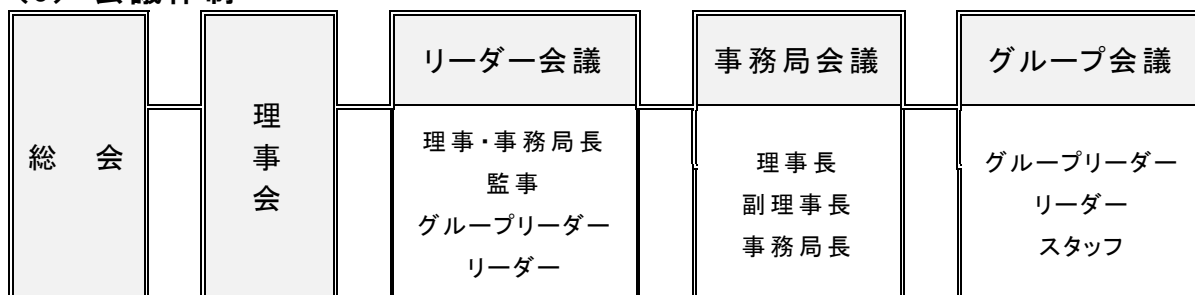
(1) グループ活動

グループ	活動	主な活動内容
自然調査	自然環境調査 自然ウォッチ	毎週1回、自然観察及び生物調査を実施する。
	ツアー・ガイド	海上の森を学び知るツアー及びガイドを実施する。
	調査学習	テーマを決めて体験する調査学習講座を開催する。
里づくり	耕地管理	海上の里の農地の管理を、年間通じて実施する。
	再生管理	里の水路やため池の維持・里山林整備などを実施する。
	里と森の教室	農作物の栽培・収穫を参加者とともに実践し学ぶ。
森づくり	森林づくり	人工林や竹林の手入れなど森づくりを実施する。
	森の教室 木工芸教室	一般に向けて森の手入れや木工芸教室などを実施する。
	企業連携	企業の森づくりに対する指導、支援などを行う。
里山文化	生活史調査	海上に残る歴史や文化を調査し、記録として整理する。
	里のくらし	里の年中行事を復活し実施する。収穫感謝祭も開催
	案内巡視	海上の森へ訪れる人の案内やゴミ投棄などの注意喚起。
	サテライト管理	里山サテライトの鍵当番、清掃・草取り等を行う。
総務情報	HP管理	HPの管理・更新を行う。
	会報発行	年4回会報を発行する。

(2) 特別グループ

森林山村多面的発揮グループ	人工林の間伐・竹林・広葉樹整備・森林環境教育
里山コミュニティ“海上の森”普及啓発グループ	映像記録制作・夏休み子ども自然学校・海上の森検定
万博10周年 海上の森のつどいグループ	里山体験学習・収穫感謝祭

(3) 会議体制



(4) 活動費支給基準

別紙のとおり（会員のページに掲載）